

## 平成28年8月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,727,099</b>	<b>203,673</b>	<b>991,272</b>	<b>36.3%</b>	<b>1,735,827</b>		
1. 営業収益	2,302,614	199,345	968,466	42.1%	1,334,148		
1. 給水収益	2,271,024	198,782	965,020		1,306,004		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,590	564	3,446	10.9%	28,144		
2. 営業外収益	424,102	4,328	22,653	5.3%	401,449		
3. 特別利益	383		154	40.1%	229		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,519,865</b>	<b>124,287</b>	<b>384,352</b>	<b>15.3%</b>	<b>2,135,513</b>	<b>728,746</b>	<b>28.9%</b>
1. 営業費用	2,253,744	73,956	333,836	14.8%	1,919,908	677,957	30.1%
1. 原水及び浄水費	467,770	32,612	134,210	28.7%	333,560	285,651	61.1%
2. 配水費	292,371	16,086	84,706	29.0%	207,665	134,036	45.8%
3. 給水費	106,460	5,542	23,209	21.8%	83,251	36,774	34.5%
4. 受託工事費							
5. 業務費	161,802	12,933	53,921	33.3%	107,881	150,307	92.9%
6. 総係費	139,605	6,784	37,791	27.1%	101,814	71,190	51.0%
8. 減価償却費	1,035,636				1,035,636		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	244,316	50,311	50,311	20.6%	194,005	50,311	20.6%
3. 特別損失	1,805	19	205	11.4%	1,600	477	26.5%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>2,640,209</b>	<b>17,623</b>	<b>252,782</b>	<b>9.6%</b>	<b>2,387,427</b>		
1. 企業債	1,414,300				1,414,300		
2. 負担金・補償金	290,301	4,741	235,180	81.0%	55,121		
3. 補助金	347,554				347,554		
4. 出資金	576,002	11,500	11,500	2.0%	564,502		
5. 加入金	12,052	1,382	6,102	50.6%	5,950		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,884,640</b>	<b>190,990</b>	<b>231,111</b>	<b>5.9%</b>	<b>3,653,529</b>	<b>2,181,034</b>	<b>56.1%</b>
1. 建設改良費	3,229,592	47,201	87,321	2.7%	3,142,271	2,037,245	63.1%
1. 取水施設整備費	1,118,656				1,118,656	1,004,670	89.8%
2. 導水施設整備費	216,540				216,540	205,308	94.8%
3. 浄水施設整備費	109,129	756	756	0.7%	108,373	72,673	66.6%
4. 送水施設整備費	481,140				481,140	446,310	92.8%
5. 配給水施設整備費	1,301,103	46,445	86,565	6.7%	1,214,538	308,284	23.7%
6. 消防設備整備費	3,024				3,024		
2. 企業債償還金	655,048	143,789	143,789	22.0%	511,259	143,789	22.0%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>57,365</b>	<b>3,317</b>	<b>8,789</b>	<b>15.3%</b>	<b>48,576</b>	<b>27,344</b>	<b>47.7%</b>
①有収水量	8,000,000	697,211	3,370,188	42.1%	4,629,812		
②供給単価	283.88	285.11	286.34	100.9%	△ 2.46		
③給水原価	258.40	178.24	113.98	44.1%	144.42		
<b>人件費</b>	<b>249,195</b>	<b>15,743</b>	<b>117,024</b>	<b>47.0%</b>	<b>132,171</b>		
1. 収益的収支	210,173	13,037	99,915	47.5%	110,258		
1. 職員給与費	208,114	12,860	99,201	47.7%	108,913		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	2,059	177	714	34.7%	1,345		
2. 資本的収支	39,022	2,706	17,109	43.8%	21,913		
* 職員給与費	247,136	15,566	116,310	47.1%	130,826		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	6.5%	10.3%				
2. 全職員	10.9%	7.8%	12.1%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>43,059,091</b>	<b>43,141,220</b>	<b>82,129</b>	
*減価償却累計額	18,174,387	18,174,387		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,658,830</b>	<b>3,681,085</b>	<b>22,255</b>	
1. 現金預金	2,796,809	2,276,302	△ 520,507	
2. 未収金	820,666	452,529	△ 368,137	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	29,459	△ 4,514	
5. 前払費用・前払金	190	897,443	897,253	工事前払金等
6. その他		25,352	25,352	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>364,844</b>	<b>364,844</b>	
1. 営業費用		314,341	314,341	
2. 営業外費用		50,311	50,311	
3. 特別損失		191	191	
<b>1. 借方合計=A+B+C+D</b>	<b>50,118,488</b>	<b>50,587,716</b>	<b>1,366,481</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,281,820</b>	<b>11,281,820</b>		
1. 企業債	10,994,615	10,994,615		
2. 引当金	287,205	287,205		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,547,494</b>	<b>846,138</b>	<b>△ 701,356</b>	
1. 企業債	655,044	511,255	△ 143,789	H28年度償還元金
2. 未払金	825,284	219,961	△ 605,323	
3. 前受金	112	91	△ 20	
4. 引当金	55,109	28,768	△ 26,341	* 賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	11,945	86,063	74,118	
うち仮受消費税		73,407	73,407	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,443,211</b>	<b>9,683,981</b>	<b>240,770</b>	
1. 長期前受金	9,443,211	9,683,981	240,770	償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,400,567	3,400,567		
<b>H. 資本金</b>	<b>9,340,661</b>	<b>9,352,161</b>	<b>11,500</b>	
1. 自己資本金	9,340,661	9,352,161	11,500	* 固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				= 企業債元金 - 負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>330,417</b>	<b>330,416</b>	<b>△ 1</b>	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		* 非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	307,517	307,516	△ 1	
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>918,313</b>	<b>918,313</b>	
1. 営業収益		896,983	896,983	
2. 営業外収益		21,184	21,184	
3. 特別利益		147	147	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>50,118,489</b>	<b>50,587,716</b>	<b>469,227</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	265.13	= 給水収益 ÷ 有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	108.20	= 原価算入額 ÷ 有収水量	当月予算
②シミュレーション	251.52	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	77.55%	= 一日平均配水量 ÷ 施設能力	
d. 有収率	83.32%	= 有収水量 ÷ 配水量	
e. 流動比率	435.05%	= 流動資産 ÷ 流動負債	
f. 現金預金比率	269.02%	= 現金預金 ÷ 流動負債	

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成28年 8 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 計 画 累 計	D 前 年 度 同 月 累 計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,714	153,672	154,350	153,284	△678	388
2 調定水量	m <sup>3</sup>	692,964	3,348,946	3,432,800	3,445,060	△83,854	△96,114
3 調定料金(税抜)	円	184,056,967	893,536,797	903,800,000	907,702,232	△10,263,203	△14,165,435
4 口振加入件数	件	25,471	127,413	-	127,620	-	△207

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 前 年 度 同 月 累 計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	81,720	-	82,496	△ 776
6 給水件数	件	30,571	-	30,528	43
7 開栓処理件数	件	244	1,588	1,392	196
8 閉栓処理件数	件	255	1,364	1,116	248
9 給水工事設計審査	件	69	331	302	29
10 給水工事竣工検査	件	77	486	405	81
11 経年メーター交換	件	313	2,252	814	1,438
12 メーター口径変更	件	4	23	12	11
13 月末停止件数	件	△8	67	76	△9

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	208,311,172 円	78.42 %	215,981,135 円	77.97 %
15 過年度分	5,310,790 円	97.26 %	5,410,038 円	97.10 %
16 全 体 (計)	213,621,962 円	-	221,391,173 円	-

4 給水装置工事指定業者(8月期異動なし)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	7	106	116	222

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	58/58	11/11	30/30	8/8	9/9	2/2
契約締結	一般	11	1	11	1	0
	指名	27	3	11	2	4
	随契	15	2	4	1	4
	合計	53	6	26	4	8

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計 0/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	6	5	工事
中間検査	5	4	工事
合 計	11	9	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	1日	8月 事業打合せ等
事業調整会議	2日	第5回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
水道事業連絡会議・料金徴収等管理業務委託会議	10日	第5回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	9日	第5回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	18日	8月期 下り松ポンプ場見学
給水拠点設置訓練	22日	第5回 東和総合支所
経営分析会議	22日	7月期 各種経営分析等
例月出納検査	23日	7月分 例月出納現金検査
指名委員会	4・10・25日	第14回・第15回・第16回
入札	4・25日	4件・7件
緊急メールの発出	-日	漏水4、破損2、配信訓練1、配備情報1、浄水場異常5

特 記 事 項

1. 8月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は198,782千円(税込)で、前月期に比べて13,770千円の増で、予算執行率(累計)は42.5%(前年度43.4%)、対前年同月比(税抜)では6,497千円の減となっています。営業収益は手数料収益564千円を含む199,345千円、営業外収益は事務手数料3,664千円を含む4,328千円となりました。

当期の営業費用は73,956千円を執行し、累計額は333,836千円、予算執行率(累計)は14.8%(前年度16.1%)となりました。

イ 資本的収支

当期の収入は、補償金4,741千円、加入金1,382千円を執行し累計で241,282千円となり、執行率(累計)は9.4%(前年度0.5%)でした。また、繰越分の出資11,500千円を執行しました。

支出は、工事請負費に17,774千円、機器整備費に1,253千円、調査設計費に2,432千円、事務費2,717千円、企業債償還金143,789千円を執行し、累計では187,835千円となり、執行率(累計)は5.0%(前年度4.7%)でした。また、繰越工事については23,026千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に3,317千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 職員研修会(「経営戦略」の策定について)を開催

8月26日(金)に水道事業所職員研修会を開催しました。講師に総務省自治財政局公営企業経営室から伊藤武人主査を迎え、「経営戦略」の策定についてと題して行いました。

経営戦略とは、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画のことで、投資試算等の支出と財源試算を均衡させた投資・財政計画が中心となります。総務省では平成32年度までに策定することを求めており、交付税措置の要件にもなっていることから、水道事業所では平成29年度末に完成する水道事業施設更新計画を基に経営戦略を策定することとしています。

なお、この研修会には水道事業所職員のほか、建設部及び企画部等から9名、他事業者から11名の参加がありました。

(2) 第4回登米市水道事業施設更新計画策定委員会を開催

8月23日(火)、24日(水)に今年度2回目となる第4回登米市水道事業施設更新計画策定委員会を開催しました。

「施設の再構築・再配置計画について」を主題に、登米市の基幹浄水場である保呂羽浄水場をはじめとする9つの浄水場の更新と再編について議論を行いました。各浄水場の現状と位置条件や水質、浄水コスト比較等から説明を行い、各委員から意見をいただきました。

(3) 地方金融状況調査(地方公共団体金融機構)

8月17日(水)に地方公共団体金融機構から地方金融状況調査を受けました。

平成27年度の企業債のうち下り松ポンプ場築造事業と新田配水池築造事業の借入分について、対象事業の概要と関係書類の確認が行われ、現地調査として新田配水池(本体及び管理棟等)の確認が行われました。

(4) 台風10号に伴う水道事業所2号配備(警戒配備0号)

台風10号の接近に伴い、8月30日(火)午前8時30分に水道事業所2号配備(警戒配備0号)とし、浄水処理及び施設の警戒にあたりました。各施設等に大きな被害はなく翌日午後5時15分に全ての配備体制を解除しました。

(5) 資金管理運用委員会を開催

8月22日(月)に資金管理運用委員会を開催し、定期預金(七十七銀行)2億円と3億円が満期を迎えることから、3億円を引き続き定期預金とし2億円を企業債償還等に充てるため、普通預金としました。



研修会の様子



委員会の様子

# 平成28年 8月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	878,655	4,222,793	4,182,710	4,318,162	40,083	-95,369
総配水量	840,745	4,044,821	4,054,550	4,097,977	-9,729	-53,156
1 有効水量	746,279	3,610,800	3,710,930	3,712,025	-100,130	-101,225
(1)有収水量	697,211	3,370,188	3,453,800	3,466,418	-83,162	-96,230
(2)無収水量	49,068	240,612	257,130	245,607	-16,518	-4,995
2 無効水量	94,466	434,021	343,620	385,952	90,401	48,069
(1)漏水量	94,146	432,722	340,000	383,613	92,722	49,109
(2)その他無効水量	320	1,299	3,620	2,339	-2,321	-1,040
3 有収率	82.93	83.32	85.18	84.59	-1.86	-1.27

※当月期の最大配水量は、8月5日(金)に記録した【29,052m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額(D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	1,118,656	4	1,004,670	0	0	113,986	89.8%
イ 導水施設整備事業	2	216,540	2	205,308	0	0	11,232	94.8%
ウ 浄水施設整備事業	14	109,129	7	71,917	1	756	36,456	66.6%
エ 送水管整備事業	4	481,140	4	446,310	0	0	34,830	92.8%
オ 配給水施設整備事業	71	1,165,285	9	138,709	5	43,290	983,286	15.6%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂浄水場	保呂浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 9)	(測定戸数: 1)	(測定戸数: 2)
平均	0.83	0.36	0.44	0.44	0.40
最低	0.74	0.10	0.20	0.30	0.25
最高	0.88	0.63	0.80	0.50	0.55

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂浄水場	H28.8.19	<0.9	<0.9	米谷水系浄水場	H28.8.19	<0.8	<0.8
石越浄水場	H28.8.18	<0.6	<0.7	楼台浄水場	H28.8.19	<0.7	<1.0
大萱沢浄水場	H28.8.18	<0.9	<0.8	合の木浄水場	H28.8.18	<0.9	<0.8
米川水系浄水場	H28.8.19	<0.8	<0.9	大綱木浄水場	H28.8.18	<1.0	<1.0
錦織水系浄水場	28.8.19	<1.0	<0.8	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 石越浄水場「大巻取水場」堆積土砂除去

8月11日～12日石越浄水場大巻取水場の迫川河川において、取水口に堆積した土砂約820m<sup>3</sup>の除去作業を実施しました。同作業は、河川に堆積した土砂が取水の阻害となることを未然に防止し、安定した取水をはかるための作業です。「浄水施設等管理運転業務受託者(明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体)」が実施し、作業期間中は保呂羽水系からの分水へ切替し、取水を停止し実施しました。

作業前堆積状況



作業状況



作業完了状況



### 2 台風10号に備え2号配備

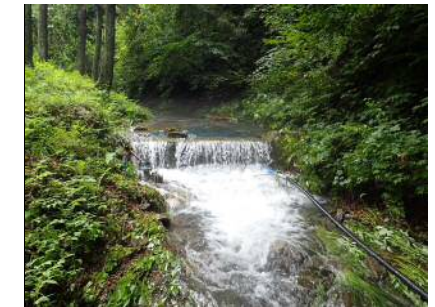
8月30日8時30分、台風10号の接近に伴い、原水濁度上昇等による浄水処理・配水施設への災害に備え「水道事業所2号配備(警戒配備0号)」とし、8月31日17時15分警戒配備を解除しました。台風による施設への影響及び対応は、下記のとおりです。

対象施設名称	日 時	対応状況
八幡山増圧施設	8月30日14時08分～ 同 15時00分	停 電
大萱沢浄水場	8月30日14時10分～8月31日 9時50分	原水濁度上昇: 30度超(予備水源へ切替)
大綱木浄水場	8月30日16時08分～8月31日11時27分	原水濁度上昇: 膜ろ過自動停止(浄水池へ補給)
米谷水系浄水場	8月30日23時00分～8月31日17時15分	原水濁度上昇: 2.5度超(保呂羽水系へ切替)

大綱木浄水場  
給水車による  
浄水池への補  
給状況  
(容量15m<sup>3</sup>)



大綱木浄水場  
取水堰の状況  
(増水による  
堰の越流)



### 3 平成28年度の漏水調査結果について

8月末の漏水調査の結果45件19.40m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

### 4 地震発生状況

平成27年5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。

漏 水 調 査 結 果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	6	1.44
	付属施設	0	0.00
	給水管	39	17.96
	計	45	19.40